

すっかり

父に「木六駄はどこだ」

と咎められますが・

屋に預けて伯父の家へ着きます。主人からの手紙の文面を見た伯

教えてもらう。役人の前に二人揃って出て、佐渡に狐がいるか、 かない越後の百姓は・ た佐渡の百姓は越後の百姓の刀を取り上げ館を出るが、 いないかの裁断を仰ぐ。賄賂のおかげで役人の助けで賭けに勝っ

野村万之丞

小笠原由祠

れ、冠者はつい贈り物の酒に手を付けてしまいます。飲むうちに 木六駄と炭六駄(6頭づつの牛に積 能楽師狂言方和泉流 公益社団法人能楽協会会員 日本能楽会会員 重要無形 文化財総合指定保持者 野村萬 (人間国宝)、故八世 野村万蔵、九世野村万蔵に 師事。数々の新作狂言を劇 作、演出。海外公演も精力 的に行っている。仮面作家。

大雪の山道で、冠者は苦労しながら12頭の牛を追います。 んだ薪と炭)と手作りの酒を都の伯父へ届けるよう命じます。

人が太郎冠者を呼び出し、

小笠原由祠 Tadashi Ogasawara 萬狂言関西支部代表

能楽師狂言方和泉流 公益社団法人能楽協会会員 2001 年生まれ

野村萬 (人間国宝)、九世 野村万蔵に師事及び父に師 3歳で初舞台。2014年よ りパリ留学、狂言普及活動 他、フランス地方音楽院に て音楽を学ぶ。現在パリ第1

小笠原弘晃 Hiroaki Ogasawara パンテオンソルボンヌ在学。

に着くと領主の館に先回りして役人に賄賂を渡し、狐の姿や形を

京の都に年貢を納めに来る越後の百姓と佐渡の百姓が道連れとな

SADO-GITSUNE

どうぞ時間に余裕を持ってお越しください

」の上演開始から約三十分間は、

途中入・退場が出来なくなりませ

越後の百姓 佐渡の百姓

茂山忠三郎 茂山千五郎

0月21日(土)

姓といっても年貢を納める当時の名主層は帯刀が許された)を賭

実際は狐を見たことのない佐渡の百姓は都

佐渡に狐がいるか、いないか口論となり、互いの刀(百

けて争うことになる。

13:00開演(12:00開場)

京都観世会館

京都市左京区岡崎円勝寺町 44

8 075-771-6114

12.000 円 10,000円 В 8,000円

学生席(U25) 3,000円 ※未就学児入場不可。

主催・制作・お問い合わせ アトリエオガ.

Mail: contact@atelier-oga.com https://atelier-oga.com

協力:株式会社萬狂言 ホロン PBI 金蔵院葉子 株式会社アートサイト

ネットでご予約

ORコードを読み込み、 特設ページ (atelier-oga.com) からご予約いただけます。 または、

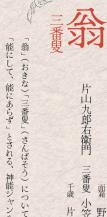
https://yorozukyogen.jp からもご予約いただけます。

メールでご予約

ticket@atelier-oga.com

/FAX でご予約

06-6942-1577 アトリエ オガ.



片山九郎右衛門

OKINA/SANBA-SOL

ENNEN NO

東京延年之會で披かせていただきました。続きまして今回、関西での初演此度、小笠原弘晃が狂言師としての重要な登竜門である「三番叟」を八月

関西での初演をお祝い下さり

日本能楽会の重鎮としてご活躍の皆様方にご出演いただきます

お相手頂き勤めます。何卒が小笠原由祠は大曲「木六駄」御当主である茂山千五郎師、

能楽師狂言方和泉流

小笠原由祠

し上げます

三番叟 小笠原弘晃 片山 峻佑 小鼓 Ш

小鼓 角 田

笛 杉

市和

地謡 橋本

光史 忠樹

青梅木田 道喜

後見

嘉宏 伸吾

泉慎也

おお。喜びありや」と謡い出し

「三番叟」は狂言方が勤めます。「三番叟」は若者の勇壮な舞で華やかに弾んだ囃子に始まり、「おおさえ、おおさえ、

天下泰平を寿ぐ「翁」はシテ方が、

極めて大きな広がりを持つ神事

歌舞伎舞踊にも取入れられている他、各地の郷土芸能・神事として保存され

律動的な笛・小鼓・大鼓の演奏で、足拍子を踏みながら、明るく力強く舞う「揉の段」と、黒い面を付けた老体での厳かな舞「鈴の段」の二つからなります

狂言後見

※チケット購入後のキャンセルは対応できかねます

